

# 付録 4

募 集 案 内

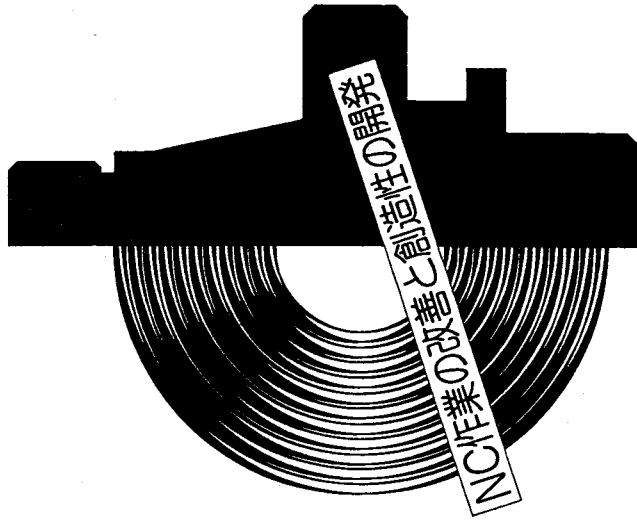
新規コースを開設する場合は、特にPRに力を入れなければなりません。

特に本書の向上訓練コースのように、企業現場における特定の従業員能力問題に応えようとする場合は、そのことを充分理解してもらおうような宣伝が大切です。この場合、企業を訪問して現場の責任者や教育担当者に会って、直接、コースのねらいや訓練方法を説明するとともに、その企業での従業員教育訓練の実状を聞いてみるのが一番です。またさらに、地域の関係企業に広くアンケート調査を行って、コースのニーズを確かめることも有効な宣伝方法です。アンケートは単なるコース紹介の文書とは違って、回答していただくことによりコースの主旨と現場の実状とを照らし合わせて考えてもらうことになりまから、従業員教育訓練についての意識を高めてもらう効果も大きいのです。

付録4「募集案内」及び付録5「コースニーズ調査票」はコース宣伝用として松本技能開発センターで実際に使用したものです。コース宣伝のサンプルとしてご活用下さい。

# NC機作業者のための加工技術

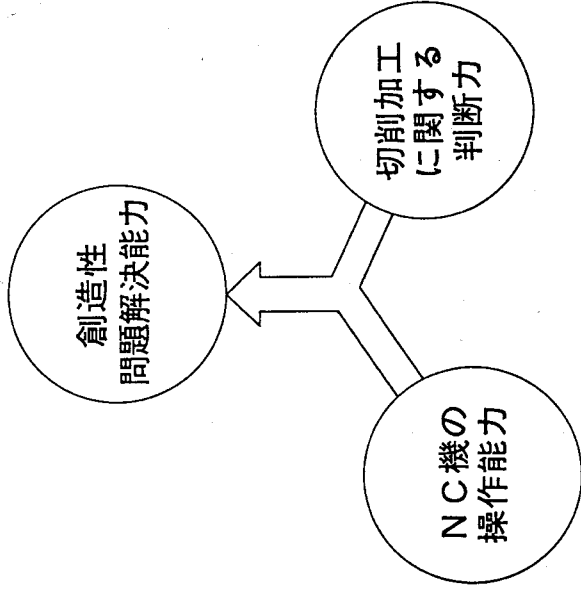
～実験的作業の体験～



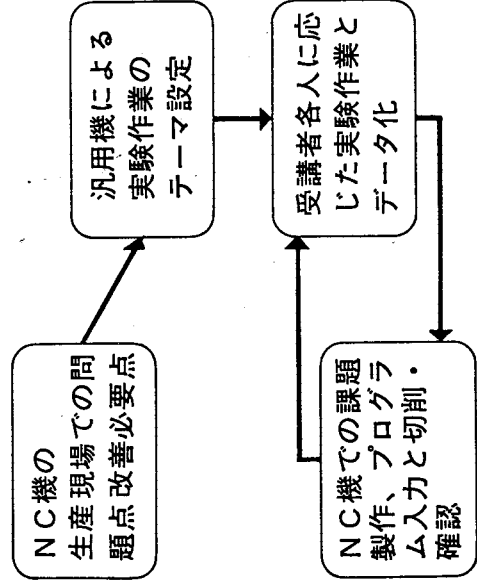
雇用促進事業団  
〇〇技能開発センター

(1)

## NC機の高度活用能力



## コースの進め方



(2)

# NC機作業者のための加工技術コース

ME技術の発達により、ほとんどの機械加工職場にNC機が普及した今日、どこの企業でも、NC機のより効率的な稼働、難切削への適応、新素材への対応等、NC機をより高度に使いこなす必要に迫られています。

しかし、そのための従業員能力という点では悩みを抱えているところが少なくありません。NC機は勤胃的な腕を必要としないために、汎用機など従来型工作機械の経験のあまりない、あるいは全くない若手が担当しているケースが多く、加工面での判断力、問題解決能力に欠けることが多いからです。

このNC機作業者のための加工技術コースは、そうした最近のNC機作業者の方々に、汎用機を教材として使いながら、各種の実験的作業を通して、切削加工に関するノウハウと理解力、判断力を身につけていただくコースです。

このコースを、NC機作業者の実力アップ、ひいては貴社のNC機作業のグレードアップのために、ご利用なさることをおすすめします。

(3)

## 関連コースのご案内

### ■開催日時

平成〇〇年〇〇月〇〇日から  
△△日まで  
(講習時間××時間)

※他の訓練コースのPR欄で、下記項目の内容を記述する。

- a. コース名
- b. コース目標
- c. 実施年月日  
……他

### ■使用機器等

N C 旋 盤  
汎 用 旋 盤  
工 具 頭 微 鏡  
三 次 元 測 定 機  
表 面 粗 さ 測 定 器  
その他

■定 員 10名

### ■受講料

### ■お問合せ、申し込み

〇〇技能開発センター  
(住 所)  
(電 話)

### ■受講対象者

- 現在NC機作業に従事している方
- 汎用機の作業経験が充分でない方

※以上の両方の項目に該当する方を対象とします。

なお、汎用旋盤に全くさわったことのない方は、  
受講申込の際にその旨申し出て下さい。

(4)

(5)

(6)